

合格者のみなさま（保護者様）へ

拝啓 この度は東京海洋大学海洋工学部への合格おめでとうございます。

私ども「一般社団法人 海洋会」は入学するみなさまの同窓会です。

海洋会の概要については、説明資料（3頁～）や会誌「海洋」抜粋記事（11頁～）等をご覧いただければ幸いです。

新入学生のみなさまには、是非ご入会をお願いいたします。

海洋会はみなさまの大学生活が楽しく有意義なものとなりますよう、心から応援しております。

敬具

2026年2月吉日



一般社団法人 海洋会

〒135-0044 東京都江東区越中島 2-1-6

東京海洋大学越中島キャンパス内

TEL.03-6458-8215

FAX.03-6458-8214

E-mail : honbu@kaiyo-kai.com

<https://www.kaiyo-kai.com/>



目 次

- ◆入会申込について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2頁

- ◆海洋会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3頁
海洋会の説明

- ◆会誌「海洋」新年号からの抜粋記事・・・・・・・・ 11頁
 - ・ 新年のご挨拶 [海洋会会長 関根博]
 - ・ 寄稿 北方領土の元島民の戦後を追って
 - ・ 東京海洋大学海事普及会 日本航海学会 航海功労賞授章
 - ・ 東京海洋大学ラグビー部 創部 100 周年記念式典
 - ・ 女性航海士の航海記
 - ・ 母校だより

◆入会申込について

①もしくは②の方法でネットからのお申込みをお願いします。

- ① 下記の QR コード（海洋会新規会員登録頁）から申し込む



- ② 下記の URL（同上）から申し込む

https://www.kaiyo-kai.com/register/register_top.html

<注意点>

- ・ 卒業年は予定年を西暦でご記入願います。
- ・ 2026年4月1日以降はホームページリニューアルのため、画面の変更が予定されています。前頁のQRコードの海洋会ホームページにある入会申込案内からお入りください。

海洋会で入会のお申込みを受け付けしだい、会費振込用紙をお送りいたしますので、到着後に会費をお振込みください。（在学生（准員）会費は在学中一括で10,000円（税込）です）

ご不明点等ございましたら、海洋会までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

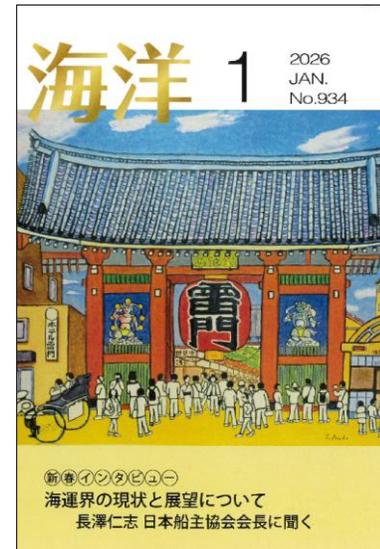
海洋会のご案内

- 海洋会は旧東京・神戸商船大学と、その系譜を引き継ぐ東京海洋大学 海洋工学部、神戸大学 海洋政策科学部の卒業生、学生で構成される同窓生組織です。
- 同窓会活動に限らず、学生・卒業生のリクルート支援やボランティアなどの社会活動も積極的に行っています。
- 会長は関根博（東京商船大学卒）、会員数約3,000名、1920年の創立から106年目の一般社団法人です。



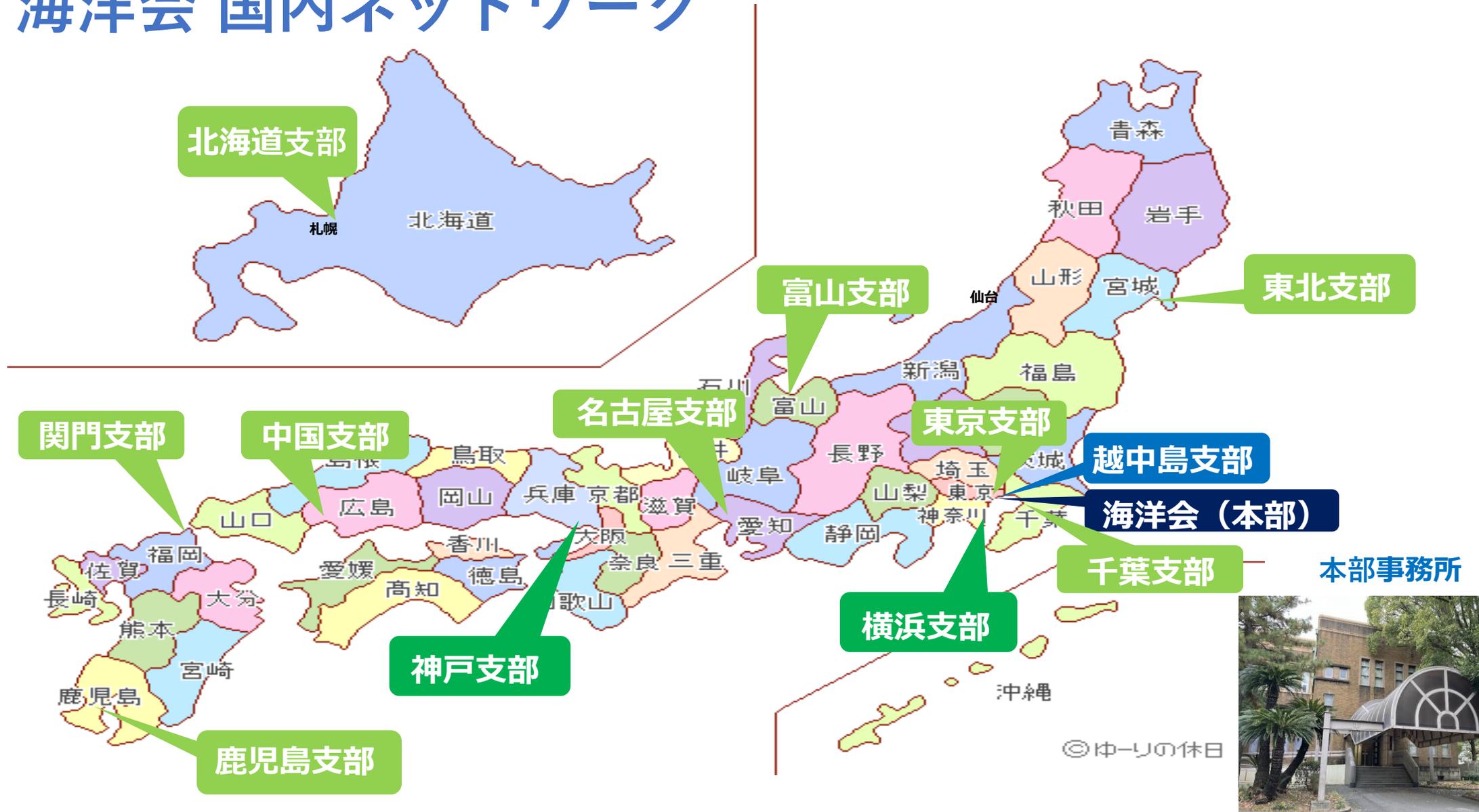
海洋会の活動は？

- 各支部で講演会・交流会の開催
- 明治丸ガイドなどのボランティア活動
- 卒業生への「海洋会賞」授与
- 業界の最前線で働く方の特別講義開催
- 若手社会人OB・OGによるセミナー開催
- 学生の海外インターンシップへの支援
- 「海の日」イベントへの参加
- 会誌「海洋」発行：1月号、4月号、7月号

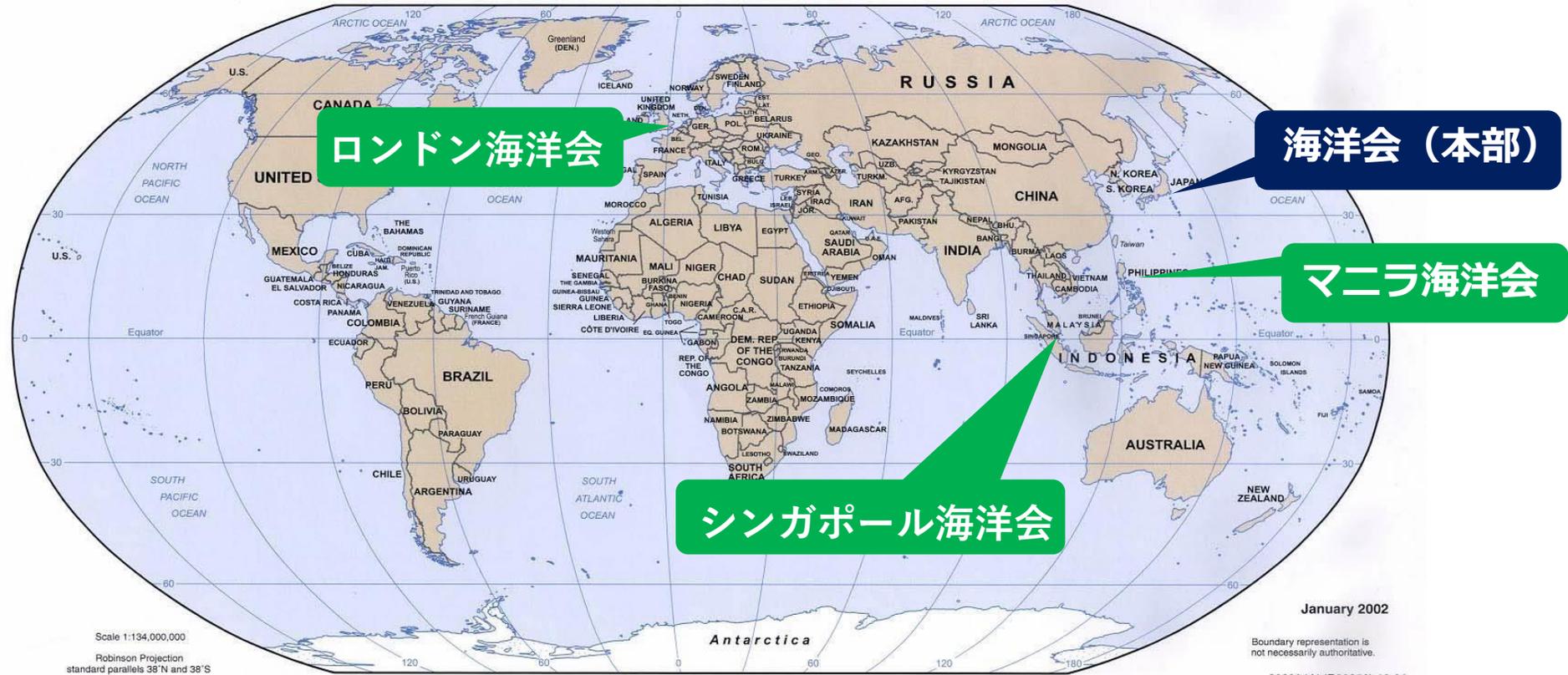


since1920

海洋会 国内ネットワーク

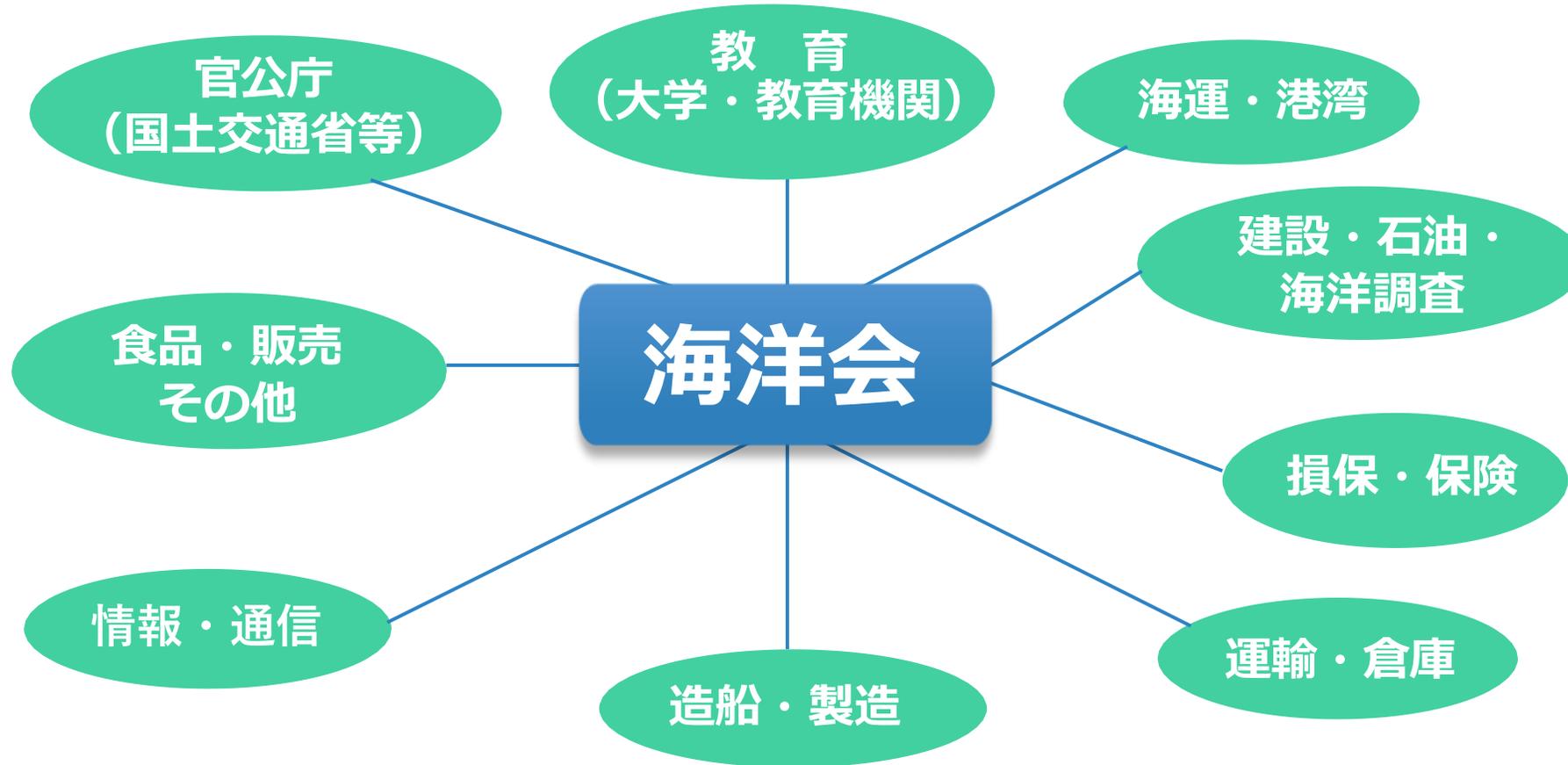


海洋会 海外ネットワーク



since1920

海洋会とおもな関連業種ネットワーク



海洋会 情報ネットワーク

- 海洋会の**会員情報**は「**会員情報システム**」で管理され、情報開示の項目は会員が各自で設定できます。同期会を開催するための「**クラス名簿**」など、必要に応じて提供できます。
- 企業からの**求人情報**を、海洋会のホームページで閲覧できる「**求人情報サービス**」があります。
- 会誌「**海洋**」を創刊号から閲覧できる「**会誌アーカイブス**」のクラウドサービスがあります。



会員のメリットは？

就職のアドバイス、
転職の求人情報提供

初めての勤務地
でも誰かがいる

情報満載の
会誌「海洋」
が年3回届く

関連業種のビジネス
パートナーができる

東京海洋大学と
の交流が続く

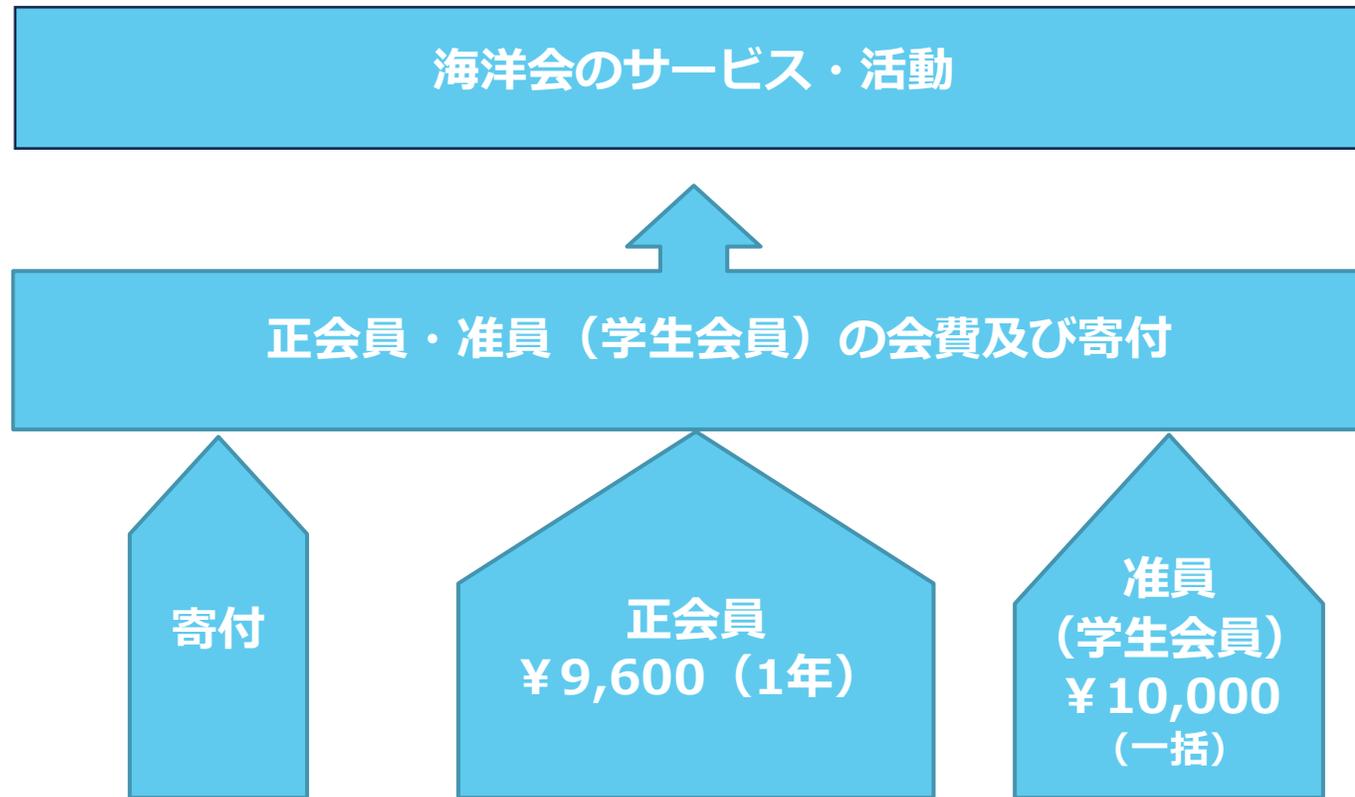
同期、先輩、後輩、
異業種との交流

後輩の採用活動
に接点ができる

神戸大学
海洋政策科学部
とのつながり



海洋会の運営と会費



- 学生の会費は准員（学生会員）として在学中一括で10,000円です。
- 卒業したのち正会員になると年会費は9,600円です。
- 海洋会は、正会員・准員（学生会員）からの会費で運営しています。



新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

最初に昨年の海洋会に関するいくつかの話題をご紹介します。

昨年は東京海洋大学海洋工学部（旧東京商船大学）創基 150 周年にあたり、11 月 1 日に大学主催の記念講演会及び懇親会が東京海洋大学で開催されました。当会会員を含め 250 名を超す多くの方が参加し、盛大な会となりました。

講演会の冒頭にあたり、小職は来賓を代表して挨拶を依頼されましたが、その内容はこれまでの大学の歩み、海洋会の役割や今後の大学への期待について簡単に述べました。

なお、神戸大学海洋政策科学部（旧神戸商船大学）は、2027 年に創基 110 年を迎えます。

両大学とも船舶職員の養成を目的とした学府から、時代とともに大きくダイナミックに活動し現在の姿になりました。

その間、海洋会は会員の皆様とともに両大学のサポートをしてきましたが、今後もその役割は変わることなく続けていきたいと思えます。

会誌「海洋」では、会員の皆様からの多くの記事や話題をいただき掲載していますが、昨年は特に運動部の部活に関する報告が多くありました。

東京からはカッター部、ヨット部、柔道部、また神戸からは剣道部やカッター部からその活動の紹介がありました。どの部も多くの会員達が年齢に関係無く、幾つかの部では昔とった杵柄で実際にその部の活動に汗を流す姿もあり大変頼もしい限りです。驚いたのは、神戸剣道部報告で 1 期生（93 才）の方が元気な姿で剣道の立ち合いをしているではありませんか。

今後も各運動部出身の会員においては、引き続き活動を通じて是非懇親を深めていただきたいと思います。その活動報告をお待ちしております。

もう一つ海洋会ボランティアクラブ明治丸グ



海洋会会長
関根 博

ループの活動をご紹介します。現在海洋会会員31名のボランティアが、週に3回明治丸の見学者を対象に船の案内や説明を行っています。昨年は7,000名を超える見学者が訪問しましたが、明治丸の人気を改めて認識するとともに、ボランティアの皆さんの活動に感謝したいと思います。

また、同クラブは昨年11月より「明治丸」の御船印販売を開始しました。寺社仏閣巡りで集められる御朱印の船バージョンで、御船印を集めながら船を楽しんでもらおうという企画です。

こういった活動は海洋会の公益活動としての大きな役割を果たしており、是非皆さんのボランティアとしての参加をお願いしたいと思います。

さて昨年夏、私はシンガポールに行ったのですが、そこでシンガポール海洋会の人たちと会い、彼らの活動について話を聞く機会がありました。

シンガポール海洋会には現在65名の会員及び名誉会員がおり種々活動をしています、外国と

いう慣れない場所での情報交換が非常に重要であるということです。

いわゆる会員の大きなコミュニティができており、これも海洋会の重要な役割の一つでしょう。

最後に東京海洋大学の昨年の卒業式及び入学式における井関学長の言葉を紹介します。井関学長の両式辞の最後には下記の言葉があり、これをもって卒業生を送りまた新入生を迎えています。

「是非、海洋会にコンタクトして、海洋大ネットワークの一員となることをお勧めします」

このような大学からの期待に対し、海洋会はそれに応えるべく今後も引き続き会員の皆様とともに活動を続けていきたいと思っています。改めて会員皆様のサポートをお願いします。

最後に会員皆様のご健勝とご多幸を祈り、新年のご挨拶とします。

今年も良い年でありますように。

北方領土の元島民の戦後を追って

—たどり着いた東京高等商船学校出身の船長—

毎日新聞社社会部北海道グループ記者 森原 彩子

1. はじめに

戦後80年を迎えた今年、ある資料の全容が明らかになった。北方領土の元島民約8800人を乗せた船の乗船名簿だ。終戦後、旧ソ連軍によって島から強制退去させられた元島民たちは、この船で樺太（現ロシア・サハリン州）から北海道の函館港に帰還した。私は記者として今春、北海道に赴任し、5月から約3カ月間、名簿に名前があった20人以上の元島民らを道内外で取材した。元島民の人生に焦点を当て、8月末から9月に毎日新聞で「乗船名簿を歩いて—元島民の『終戦』」を連載した。失われつつある記憶をたどったルポの一部を紹介したい。



した書籍も調べると、寿郎さんが誕生したのと同時期に、真鍋さんが徳寿丸の船長を務めていたと考えられる記述が見つかった。

別の人物が徳寿丸を運航した記録もあったが、徳寿丸船長である証拠が多く残っていたのは真鍋さんだった。真鍋さんを知る人を探し、複数の関係機関に問い合わせたが、「記録の保存期間が過ぎている」「真鍋さんを知りうる世代の人はもういない」との答えで、有力な情報は得られなかった。そんな中、東京高等商船学校（現東京海洋大学）の卒業生名簿に真鍋さんの名前を見つけ、OB会「海洋会」に真鍋さんの記録が残っていないか問い合わせた。事務局の阿部さんと城戸さんの協力で、会員名簿を1940年代までさかのぼることができた。真鍋さんの数年おきの所属に加え、晩年は香川県高松市に住んでいたことが分かった。

すぐに札幌市から高松に飛んだが、入手した住所まで行くと、そこは更地だった。諦めかけたが、何か記録は残っていないかと望みをかけて高松法務局に足を運んだ。古い土地の記録を調べると、真鍋さんの子孫が広島県呉市に住んでいる可能性が浮上した。住所から調べた電話番号に電話をかけると、男性が「私の父です」と答えた。

高松から呉市に向かい、真鍋正直さんの息子の二三夫さん（75）と対面した。二三夫さんによると、真鍋さんは1905年に愛媛県の旧別子山村（現新居浜市）生まれで、山奥で育ち、海への憧れからか、幼い頃から船長を志していたと聞いた。家では寡黙な父親だったそうだ。引き揚げ船で船

2. 船で生まれた男性

公開された乗船名簿には「出生」の文字があった。その一人が、北海道根室市に住む佐藤寿郎さん（78）だ。佐藤家は択捉島で暮らし、旧ソ連軍に島を強制退去させられた後の1947年9月、樺太から引き揚げ船「徳寿丸」に乗り込んだ。船内で産声を上げた寿郎さんの名前は、船長が船名にちなんでつけてくれたことを知った。名簿を目にした佐藤さんは「胸がいっぱい」と話したが、名簿には名付け親の船長の名前はなかった。「お礼が言いたいと思って生きてきた。どんな人なのか知りたい」と思いを打ち明けてくれた。寿郎さんの思いに動かされ、徳寿丸の船長を探し始めた。

3. 船長の足跡をたどって

国が1951年に船舶の安全情報などをまとめた「水路要報」を確認すると、徳寿丸船長として「真鍋正直」という人物の名前を見つけた。国会図書館に残された連合国軍総司令部（GHQ）による数回分の引き揚げ船の記録や、旧国鉄が刊行

長を務めたことは聞かされず、1974年に69歳で心筋梗塞で死去した。二三夫さんは「島の人の帰国に父が関わっていたのだとしたら、こんなにうれしいことはない」と頬を緩ませた。

8月8日には寿郎さんと二三夫さんがオンラインで対面した。二三夫さんは1950年代に撮影した真鍋さん一家の家族写真を映した。初めて真鍋さんの顔を見た寿郎さんは言葉を失い、目に涙を浮かべてつぶやいた。「生きてきてよかった」

時は、ほとんどが子どもだった。当時の状況を聞くと「大人が何を考えていたか分からない」と答える人もいた。

取材を重ね、未解決の問題を前に元島民の記憶や記録が失われていく現実に危機感を強めた。確かにそこに存在した人生を描き、これまで明かされてこなかった「空白」を埋めることで、記憶のバトンを次世代につないでいきたいと考えている。

4. 取材を通じて

日露間の北方領土問題は解決の糸口が見えない。「古里は奪われたまま。今でも帰りたい」「(島を離れて、今も)よそ者だという感覚」という元島民たちの言葉から、80年たっても残る戦争の爪痕を感じた。元島民の平均年齢は89.6歳。終戦

謝辞

一般社団法人海洋会のご協力により、会員名簿や会誌「海洋」から、新たな史実に迫ることができました。本稿で言及した方だけでなく、引き揚げ船の運航記録に名前が残る複数の方について資料を集めていただきました。改めて心より御礼申し上げます。

氏名	性別	年齢	備考
佐藤 寿郎	男	49	
佐藤 節子	女	49	
...
合計			126

「引き揚げ船『徳寿丸』の乗船名簿＝千島歯舞諸島居住者連盟関東支部提供（画像の一部を加工しています）」

東京海洋大学海事普及会 日本航海学会 航海功労賞 受賞

海事普及会 前代表 流通情報工学科 4年 山内 茉莉

7月18日（金）、都内の海運ビルにて開催された海事三学会（日本航海学会、日本船舶海洋工学会、日本マリンエンジニアリング学会）の合同表彰式において、私たち東京海洋大学海事普及会は、日本航海学会より「航海功労賞」という大変名誉ある賞をいただきました。

この度の受賞は、60年以上にわたる私たちの海事思想普及活動を評価していただいたものです。当会は、全国各地の小中学生を対象に「海と船の教室」を開催し、手旗信号やロープワークなどの体験を通して海運の重要性を伝えてきました。メンバーが3年で入れ替わる学生団体でありながら、活動のノウハウを途切れさせることなく継承してきた点、そして国産現役最古のプラネタリウムの維持管理を行い、機械遺産などへの登録に貢献した点も評価していただけたとのこと、大変嬉しく存じます。

表彰式当日は、日本航海学会の竹本孝弘会長ならびに今津隼馬選考委員長へ、直接ご挨拶と感謝をお伝えすることができました。会場に足を踏み入れると目の前には金屏風が広がり、その規模の大きさにただただ圧倒されるばかりでした。授賞式では、私たちが最初の受賞者となり、3名の部員で登壇しました。不安と緊張でいっぱいでしたが、無事に表彰状と盾を受け取り、記念撮影を



左から 坂部さん、小宮山さん、山内さん、竹本会長

していただきました。

その後、受賞者代表としてスピーチという大役を仰せつかりました。これほど大きな会場でのスピーチは初めてで、大役を果たせるか不安でしたが、これまで活動を支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちと、今後の活動への決意を述べました。

祝賀会では、海事業界でご活躍の大学の先輩方をはじめ、多くの方々と貴重なお話をさせていただきました。特に、「シップ・オブ・ザ・イヤー2024」を受賞された「関鯨丸」の共同船舶・稲芳久常務取締役のお話は大変興味深く、捕鯨船というものを詳しく知らなかった私にとって、世界が広がるような貴重な学びの機会となりました。

今回、このような素晴らしい賞をいただけたのは、今日まで活動を繋いでくださった先輩方、当会の活動をご支援くださる海洋会様、山縣記念財団様、東京海洋大学の先生方のおかげです。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

この度の受賞を励みに、海事普及会はこれからも海と船の魅力を伝える活動に邁進してまいります。今後ともご支援ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



山内さん 受賞者を
代表しスピーチ

東京海洋大学ラグビー部 創部100周年記念式典と祝賀会開催

守屋 健一（東船大 E38）

東京海洋大学ラグビー部は2025年7月12日に本学越中島講堂及びマリнкаフェにおいて創部100周年の記念式典と祝賀会を開催いたしました。

ご来賓には東京海洋大学・井関俊夫学長をはじめ、伊藤隆・関東ラグビー協会会長、神戸大学ラグビー部をはじめとする本クラブと交流がある大学ラグビー関係者ら、来賓60名を含む180名程が出席いたしました。



清宮克幸・日本ラグビー協会副会長

式典に続き 清宮克幸 日本ラグビー協会副会長が記念講演を行い、「ラグビー選手になること

を若者たちに強く勧めるのは、この競技が単なる身体の鍛錬にとどまらず、集団に対する強い責任感やノブレス・オブリージュを育むのに最適だからです。その精神は、長い人生において生涯にわたり、必ず役に立つでしょう」とラグビー部の学生たちに対して力説。その言葉は来賓の各大学OB会にも強く響きました。

その後の祝賀会は、児玉隆一郎・学習院大学OB・OG会会長のご挨拶と乾杯で始まり、盛会のうちに終了いたしました。



児玉隆一郎・学習院大学OB・OG会会長



出席者一同

ある女性航海士の航海記 (23) ～歩んできた自身のキャリアについて <1>～

航海士 鈴木ひろか 東京海洋大学 2013 年卒業 (第 6 回生)
(東京海洋大学大学院 2015 年修了)

前号までは5回にわたり貨物について述べてきましたが、今号からトピックを変えて、複数回に分けて自身のキャリア形成について書いていきたいと思います。学生さんが一番気になる部分ではないでしょうか？私の場合はラッキー要素も多いのですが、学生の頃には迷った期間が沢山ありましたのでお役に立てますと嬉しいです。ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、2025年7月に、母校・東京海洋大学にてキャリアセミナーを実施しました。一部の学生さんには、弊社のインターンシップにもご参加いただけて誠に嬉しく思います(宣伝になりますが、海洋会本部に私の名刺が置いてありますので気になる方はご連絡ください)。また、2021年から2023年の連載では質疑応答について書いておりますので、よろしければそちらもご参照ください。

私は大学を卒業後、大学院に進学しました。小学生の頃から船員に憧れていた私が選択した学部は、勿論、航海科でしたが、研究室はロジスティクス系で海運に纏わる研究をしていました。学部生の頃、研究にのめり込んでいくうちに「自分は追究することが好きだ」ということに気付き、小学生の頃から目指していた海上職を目指すか、それとも研究職を目指すか、葛藤した時期がありました。研究職を選択する場合、春卒業の方が良いと考え、実習科に進学するかどうか迷いました。そんな中、同学科出身の研究室の先輩から「実習科に後から進学するのは大変だと思うから、行っておいた方が自分はいいと思う」とご意見をいただき、それに納得して、まずは実習科に進学しました。いざ、

長期乗船を経験してみて「自分が本当に船と海が好きである」ということを再認識しました。学生の頃は、物覚えが悪く、船員として働けるのか心配もありましたが、挑戦すると決意し、海上職メインで就職活動をしました。メインと述べたのは、それ以外の業界も自分なりに調べ、合同説明会や会社見学に足を運んだからです。そういった活動をしたことにより、海運業界に興味があることを実感し、その理由を考え、言語化しました。

いくつか内定を貰いましたが、最終的に選択したのは「外航ケミカルタンカーの船員」という道でした(実務的な話は他号に書いておりますので、そちらも読んでいただけますと幸甚です)。仕事自体は非常にハードで、説明できないくらい大変な局面に何度も直面しましたが、今でも現場・海上職が好きだと胸を張って断言できます。見習い三等航海士からスタートし、最終的には一等航海士(C/O)の実職まで執りました。学生のうちに、筆記試験は一級まで取得し、実務を経て、免状も取得しました。よく聞かれることですが、資格は取れる時に取っておくことを推奨します。



一等航海士(C/O)として執務中

母校だより

越中島

暑く長かった夏が過ぎ、ようやく秋めいてまいりました。東京海洋大学では後学期が始まり、学生たちはあわただしく登校しています。越中島キャンパスでは、例年のように落ち葉や銀杏が多く見られる季節となり、四季の移ろいを目で楽しむことができます。また、越中島キャンパスは基本的に開放されており、保育園児が元気にお散歩する姿や、地域の方々がマリカフェで談笑する様子も見られます。

前回の母校だよりからこれまでに本キャンパスで行われた主な行事についてご報告いたします。

◎「海の日」記念行事・第21回明治丸シンポジウム

越中島キャンパスのイベント案内

- 明治丸、百年年記念資料展、明治丸記念館 特別公開
- 産業機械製造技術公開
- 内燃機関工学研究室・実験設備の公開
- 三次元重心検知研究室公開
- 地熱・温泉水の研究の最先端
- 大型船を船泊してみよう!
- 電池推進「らいちよう」スーパークラフト
- 電気動力研究室公開
- 冷凍冷蔵コンテナ公開
- 仕事を手探してみよう!
- 越中島写真展「海の日展」
- 機械デバイス工学研究室紹介
- 潮位を正確に測ってみよう!
- 海で働くロボットを見てみよう!
- 「機械遺産展」日本最古のプラネタリウム上映会

第21回 明治丸シンポジウム
観光と明治丸—明治丸から始まる深川探訪—
 13:00~15:00 (開場12:30) 越中島会館2階講堂
 (事前予約不要・参加無料)

13:00 開会挨拶
 13:20 講演Ⅰ「我が国の観光政策の現状」
 13:50 講演Ⅱ「観光による街おこし」
 14:20 講演Ⅲ「江戸から明治をたどる深川めぐり」
 14:50 閉会挨拶

令和7年7月21日(月・祝)、本年度も東京海洋大学において、一般の方々を対象に海に親しみ、興味を持っていただくことを目的とした「海の日」記念行事を開催しました。ご存じのとおり「海の日」は、明治天皇が「明治丸」で東北・北海道御巡幸から横浜港へ安着された日にちなみ制定された記念日で、現在は国民の祝日となっています。

当日は、「明治丸」の特別公開、プラネタリウム上映会、工作教室など、多彩な催しが行われました。また、本学が誇る研究・教育設備の公開や、教員による最先端の研究成果の紹介も行われ、大盛況のうちに幕を閉じました。

同日開催された第21回明治丸シンポジウムでは、「観光と明治丸—明治丸から始まる深川探訪—」をテーマに、「我が国における観光政策の現状」「観光による街おこし」「江戸から明治をたどる深川めぐり」という三つの興味深い講演が行われ、こちらも盛況でした。

「海の日」は本学とゆかりの深い祝日であり、これらの行事には多くの同窓生の方々にもご参加いただきました。船や海に詳しくない方でも楽しめる内容となっておりますので、ぜひ毎年この日にはご家族やご友人をお誘い合わせのうえ、越中島キャンパスにお越しください。

◎令和7年度9月期 学位記・修了証書授与式

9月26日（金）、越中島キャンパスの越中島会館講堂にて、令和7年度9月期の学位記・修了証書授与式を挙りました。本年度の卒業・修了生は、学部卒業生6名、乗船実習科修了生37名、

博士前期課程修了生32名、博士後期課程修了生15名、論文博士1名の計91名でした。

当日は来賓の方々にご臨席、保護者の皆様にも多数ご列席いただき、卒業生・修了生の門出を祝う温かい雰囲気の中での開催となりました。



越中島会館講堂にて

◎後学期授業の開始

10月6日（月）から後学期（第3学期）の授業が始まりました。越中島キャンパスの多くの学生は、船舶実習も並行して行っており、講義と実習に忙しくも充実した日々を送っています。

また、すでにお知らせしているとおり、今年度から授業時間が105分となりました。講義のある日は忙しくなりましたが、その分、長期休暇が長くなったため、学生が休暇を通じて大きく成長した姿を見るのが楽しみです。

これから越中島キャンパスは冬を迎えます。寒暖差の激しい時期でもありますので、体調にお気を付けてお過ごしください。越中島キャンパスは基本的にオープンですので、ぜひいつでも足をお運びください。

（東京海洋大学 流通情報工学科 奥村 保規 記）

深江

◎マサチューセッツ海事大学（MMA）との交流プログラム実施

2025年6月19日から7月9日の間、マサチューセッツ海事大学（MMA）国際海事ビジネスコースの学生11名と教員2名が今回で2回目となる海事科学研究科との交流プログラムに参加しました。MMAの学生たちは、本研究科の教員等による海事に関する講義の受講、大阪コンテナターミナルや神戸港などの訪問、本研究科附属練習船「海神丸」によるクルーズ体験、京都や姫路への文化探訪、西宮での海岸清掃活動にも参加し、専門分野の学びと並行して、日本の歴史・文化・環境保全に対する理解を深めました。



◎オープンキャンパス2025開催

2025年8月7日（木）、深江キャンパスにて「海洋政策科学部2025」が開催され、高校生・保護者を合わせて656名に参加いただきました

<https://www.maritime.kobe-u.ac.jp/news/2025/20250724.html>

た。今年は「領域紹介コーナー」、「研究室訪問ツアー」、「海神丸船内見学」等の企画を行い、参加した高校生からは入学後の大学生活を具体的にイメージできたとしても好評でした。



研究室訪問の様子



海神丸船内見学の様子

◎2025年度神戸大学乗船実習科終了証授与式実施

2025年9月25日（木）、4月より6か月の乗船実習を終えた乗船実習科生の修了証書授与式が実施されました。

◎2025年度第19回海事科学部/海洋政策科学部ホームカミングデイ 開催

2025年10月25日（土）、第19回ホームカミングデイが開催されました。今年は、記念講演として国立研究開発法人海洋研究開発機構の田代省三氏にご講演いただいた他、在学生による研究発表を行いました。

◎2025年度海技ライセンスコース2年生の海神丸実習実施

2025年9月、海技ライセンスコース2年生対象の海神丸実習を実施しました。今年度は3泊4日の実習を3組実施し、途中高松港に入港しました。高松港では、株式会社マキタの工場見学を行い、船用機関についての見識を深めました。その他、各部署作業、航海当直の基礎、心肺蘇生法や消防設備の取り扱い等、今後の実習の基礎となる部分を中心に実習を行いました。

（助教 猪野 杏樹 記）

海技教育機構

◎乗船実習

・東京海洋大学

10月1日から1年生 航海科61名、2年生 機関科58名が、11月5日から航海科4年生30名、機関科3年生33名が青雲丸に乗船し、1月の短期実習を実施しました。

・神戸大学

1月5日から3年生 航海科40名、機関科15名が銀河丸に乗船し、3か月間の長期実習を実施します。

・海技大学校

10月7日から海技大学校の航海専修1年生13名、機関専修1年生6名が銀河丸に乗船し、3か月間の長期実習を実施しました。



青雲丸船橋



青雲丸操練



青雲丸乗船式



青雲丸神戸出港

◎海技大学校入学式

・水先コース（一級進級、二級進級）

10月6日、水先コース（一級進級）16名及び同コース（二級進級）9名、計25名の入学式が挙行されました。各コース共、共通教育受講後、各水先区における個別教育を受講します。

・水先コース（三級）

10月1日、水先コース（三級）の入学式が行われ、1名が入学しました。

・外航基幹職員養成コース（航海、機関）

10月1日、外航基幹職員養成コース（航海、機関）の入学式が行われました。航機合わせて11名が入学しました。約3か月の在学中、各種シミュレータ訓練、航海及び機関関係の実習、及び海事英語等の座学を受講します。

◎海事広報

WEBを活用して実施できる広報活動について、現在は、X（旧ツイッター）、フェイスブックなどで積極的に情報発信を行っております。是非ご覧ください。

海技教育機構公式 Facebook

<https://www.facebook.com/jmets.ac.jp>



海技教育機構公式 X (旧 Twitter)

<https://twitter.com/jmetsacjp>



・海技教育機構オリジナルカレンダー 2026

海技教育機構オリジナルカレンダー 2026 の販売を行っています。昨年に続き、今回もフォトコンテストを開催し、全国から大変多くの応募をいただきました。

日頃より JMETS を応援してくださっている方々から届いた、様々な練習船の写真や実習の様子で構成されたカレンダーとなっております。

また、売上の一部は監修料として JMETS に上納されます。

価格：1部 900 円 (税込、送料別)

サイズ：[カラー B4 (見開き B3) 判]

中綴じタイプ

製作・販売：株式会社 交文社

・JMETS カレンダー&練習船カレーセット (160 セット限定販売)

カレンダー+カレー+送料 = 2,200 円 (税込)

ご注文・お問合せ先：

Email : info@kobunsha-print.com

HP : <https://www.kobunsha-print.com/news/716>

TEL : 03-3267-1225 FAX : 03-3267-3120



(神船大 A15 角 和芳 / BE48 中村 雄史 記)